

# 2011/05/04 社協との打合せ

## (移動式サロン 長野 BL 協力体制 その他)

参加メンバー(敬称略)

阿部(社協) 佐々木紀子(社協)

長野BL 森泉JJC監事はじめ 6名

松戸理事(BRA) 川村(BRA) 近藤(BRA) 吉田(盛岡JC) その他 2名

打合せ内容

### 1) ニーズ調査の為の移動式サロン作りについて

背景

現在行われているニーズ調査は、いわゆる外部者が、地元被災者の自宅に伺い、「何か必要なことはないか」といって調査を行っているスタイル。しかしながら、こういったスタイルでは遠慮しがちな地域性から、本当のニーズにはたどり着きにくいと判断し、まずは心を開く意味でお茶を飲みながら、ざっくばらんな雰囲気でのニーズ調査を試みる

○ポイント)

- ・移動式屋台形式
- ・定期的に行う(第一回目 5月11日(水) 予定で毎週水曜開催予定 場所:織笠と大沢)
- ・お茶を飲みながらの雰囲気にて被災者とじっくり向き合い、心のケアも同時に行う
- ・JCの全国ネットワークを生かした全国からの銘菓を募集し、話題作り
- ・仮設住宅入居前にそのコミュニティーの方々との絆を作っておき、入居後の孤立化を防止

する。

- ・社協のヘルパー的な町民の方を見出す。

**※5月11日(水)のコミュニティーつくりの結果を見て、準備物リストをはじめとした簡易マニュアル作成予定**

### 2) 山田町出身者のボラセンスタッフとしての雇用について

背景

現在、三重県において、三重県職員という位置づけにて、山田町ボラセンスタッフを地元町民を雇用していただいております。そのスタッフが活躍している。もう1名~2名、同様に現地に精通した地元スタッフを、山田町ボラセンスタッフとして雇用していただける自治体があれば非常に助かるとのこと

ポイント)

- ・地元スタッフの人選は山田町社協に一任(阿部さん・佐々木さん)
- ・地元の雇用が生み出せる
- ・他の外部社協スタッフと異なり、長期的な活動が可能
- ・キーマンとなるアクティブな町民雇用をつくりことにより、町民の外部流出を防ぐ

今回、長野ブロック様にもご同期いただいていたことから、長野県において対応していただけないかということをお願い。

さらには、JC窓口専用のスタッフ常駐の案も浮上し、長野BL様の持ち帰り協議の結果返信を待つ。

### 3) 泥だし等の撤去ニーズへの対応(大浦地区)

背景

現在、大浦地区では、数件の泥だし作業が行われ、「ご近所が泥だしをしたなら・・・」ということで、「では、うちのほうもお願いしよう」という機運が高まってきている。ということで、一気に戸建の泥だし作業の需要が高まる可能性が直近に出てきた。

ポイント)

- ・ローラー作戦の実施(撤去ニーズを調査し、その場で対応できる撤去・泥だし等はやってしまう。)

※現在、撤去ニーズ調査と実働は別で行っており、ニーズ→現調→作業となり、ニーズが発生してから最低でも中一日かかっている。

### 4) 長野BL様から、今後必要となる復興物資の調達申し出有

阿部さんと直接連絡により、ニーズ確認の上、必要物資を長野さまにて調達

### 5) 今後の炊出し計画

定期的に炊出しを行う(例:毎週 水・金は炊出しの日)

※現在これに近い形で金沢JCが山田町にて毎週末炊出しを行っている

### 6) 子供向け映画上映会について

長野BL のLOM様において、東映とコラボしてドラえもんの上映会を企画している